



ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社 2015年1月期 第3四半期決算補足資料

**海外現地業務、ECサポート業務が拡大し、前期比増収
利益率高い国内デバッグ減少や人件費等増加し、同減益
営業・業務体制再構築による営業力・利益率向上と
国内・海外サービス連携による更なるサービス充実を図る**

証券コード:3657
銘柄略称:ポールHD
2014年12月5日

1. 2015年1月期 第3四半期連結決算概況・・・ 2
2. 2015年1月期 通期連結業績予想・・・ 7
3. <参考>Eコマースサポート事業の紹介・・・11
4. <参考>会社概要・事業内容・
今後の事業成長イメージ・・・14

1-1. 2015年1月期 第3四半期連結業績概況

ゲームメーカーのグローバル展開加速、円安もあり**海外売上高増加**
 利益率高い国内デバッグ減少や人件費・拠点増加により減益
 営業・業務体制再構築による営業力・利益率向上を図る

単位:百万円(単位未満切捨)

	【当期】 2015/1期 3Q累計 (2014.2-2014.10)		【前期】 2014/1期 3Q累計 (2013.2-2013.10)		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上高	11,015	- %	10,482	- %	533	+5.1%
営業利益	1,391	12.6%	1,769	16.9%	△377	△21.4%
経常利益	1,411	12.8%	1,902	18.2%	△491	△25.8%
四半期純利益	732	6.6%	1,063	10.1%	△331	△31.2%

※比率については表示単位未満を四捨五入

1-2. 2015年1月期 第3四半期 セグメント別業績概況

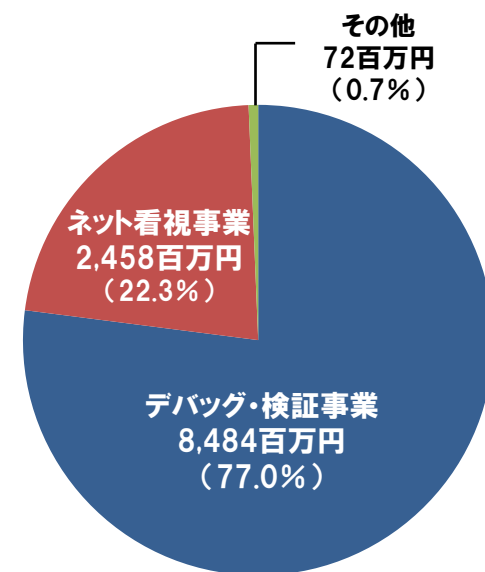


デバッグ・検証事業は、**円安**もあり海外売上高が同事業の20%超
 国内デバッグはPS4用タイトル、パチスロデバッグ低調
 ネット看視事業は、EC向け出品物チェック、広告審査が増加

単位:百万円(単位未満切捨)

		【当期】 2015/1期 3Q累計実績 (2014.2-10)	【前期】 2014/1期 3Q累計実績 (2013.2-10)	前年 同期比
デバッグ・ 検証事業	売上高	8,484	8,218	+3.2%
	営業利益	1,373	1,625	△15.5%
ネット 看視事業	売上高	2,458	2,215	+11.0%
	営業利益	60	125	△51.7%

2015年1月期 3Q累計
セグメント別 売上高構成比
売上高合計 11,015百万円



※比率については表示単位未満を四捨五入

1-3. 2015年1月期 第3四半期 セグメント別トピックス



デバッグ・検証事業

売上高 8,484百万円(売上構成比77.0%)

■ ゲームビジネスのグローバル化や円安もあり、海外売上高が増加

＞ 6ヵ国9拠点の**海外売上高が当事業の20%超**

＞ 日本のソーシャルゲームメーカーの中国、韓国、東南アジア、米国、カナダ、オーストラリア、欧州等への展開に伴うローカライズ(翻訳)、ユーザーサポート業務が増加

＞ 国内外の拠点が連携した多言語ローカライズ、ユーザーサポート需要拡大

■ 国内デバッグは前期比、前四半期比とも減収

＞ PS4用タイトルの開発長期化により、デバッグ業務受注が当期想定を下回る

＞ パチスロの型式試験方法変更により、デバッグ業務受注が後ろ倒し

ネット看視事業

売上高 2,458百万円(売上構成比22.3%)

■ Eコマースサポート業務が増加

＞ ネットショッピング・オークションの取引量増加に伴う出品物チェック、薬事法や景品表示法に基づく広告審査、**Eコマース付随BPO※業務が増加**

■ ネイティブアプリのユーザーサポート業務が増加

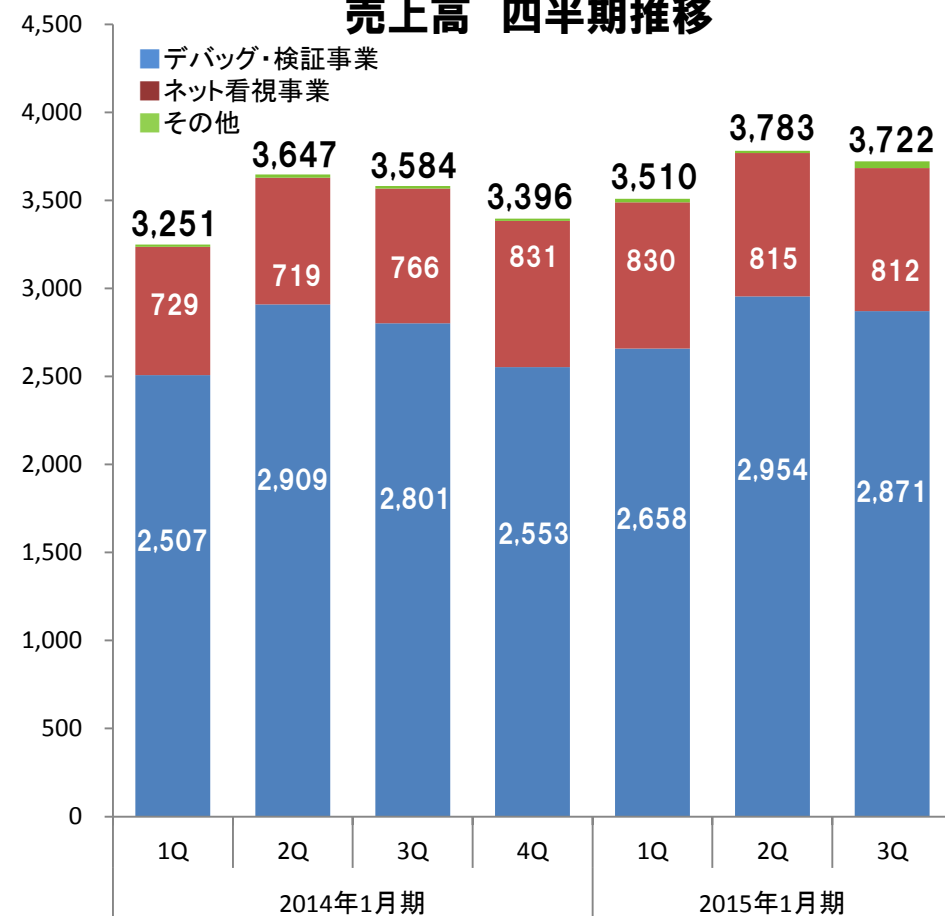
■ 学校裏サイト調査の受注堅調、ネットリテラシー向上啓発活動の受注も増加

1-4. 四半期業績推移(売上高・営業利益)

海外売上高増加するも、国内デバッグ、ネット看視が前Q比減収
利益率高い国内デバッグ減少、人件費・拠点増加により同減益

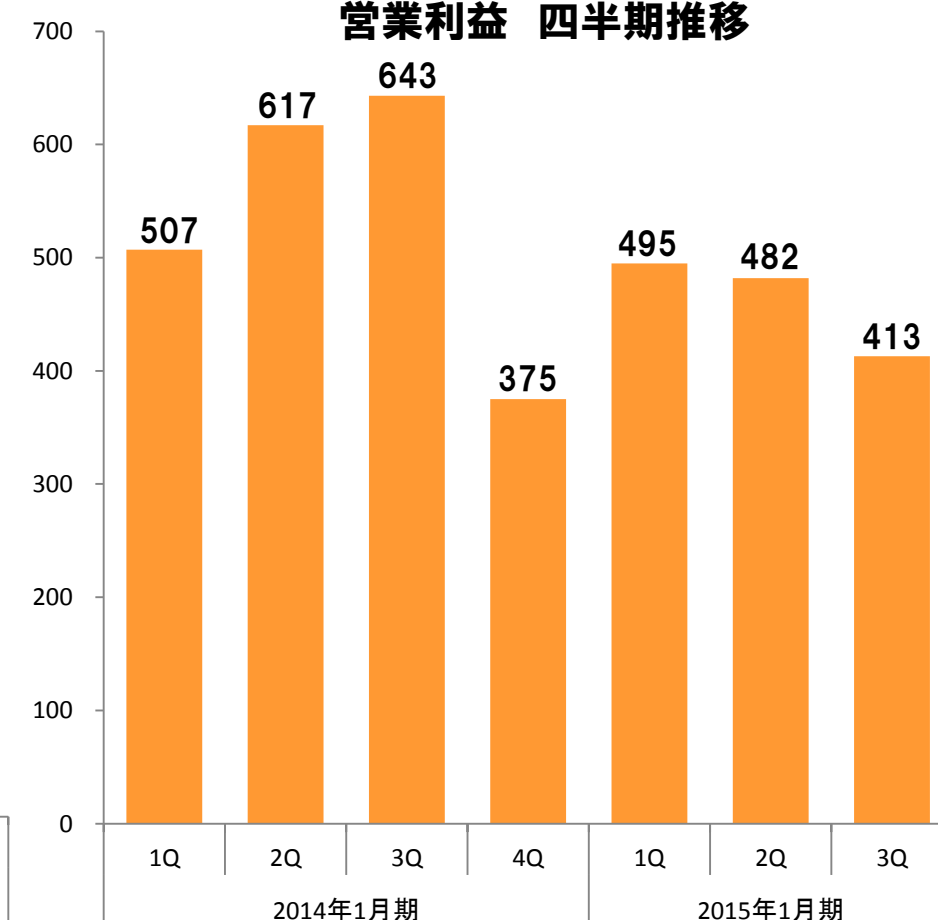
(単位:百万円、単位未満切捨)

売上高 四半期推移



(単位:百万円、単位未満切捨)

営業利益 四半期推移



(注)四半期会計期間の売上高、営業利益は、社内管理数値による参考情報です。

1-5. 財政状況 連結貸借対照表

売上拡大に伴い、売掛金、未払金増加
引き続き**借入金ゼロ**、自己資本比率81.6%高水準維持

単位:百万円(単位未満切捨)

	2015/1期3Q末	2014/1期末	増減額
流動資産合計	7,486	7,036	+449
（うち現金及び預金）	4,999	4,959	+39
有形固定資産	370	295	+75
無形固定資産	1,377	1,456	△78
投資その他の資産	568	440	+128
固定資産合計	2,316	2,191	+124
資産合計	9,802	9,228	+574
流動負債合計	1,747	1,680	+67
固定負債合計	54	53	+0
負債合計	1,802	1,734	+68
純資産合計	8,000	7,494	+506
（うち資本金）	1,236	1,233	+2
（うち資本剰余金）	1,282	1,279	+2
（うち利益剰余金）	5,007	4,579	+428
負債純資産合計	9,802	9,228	+574

2-1. 2015年1月期 通期連結業績予想

海外デバッグ・Eコマースサポート事業を成長原動力とし
国内デバッグは品質向上・高付加価値化にて市場競争力を強化
海外投資や人件費上昇への対応により利益率は低下を見込む

単位:百万円(単位未満切捨)

	2015/1期 通期予想	2014/1期 通期実績	増減率
売上高	14,961	13,879	+7.8%
営業利益	2,183	2,144	+1.8%
経常利益	2,186	2,290	△4.5%
当期純利益	1,211	1,205	+0.5%
1株当たり当期純利益	63.74円	63.55円	+0.19円
1株当たり配当	16円	16円	±0円

※比率については表示単位未満を四捨五入

2-2. 2015年1月期 通期連結業績予想 進捗状況

通期予想に対する利益進捗率はやや低調。PS4用タイトルやパチスロのデバッグ業務が来期へ後ろ倒しの可能性あるが適時開示基準に照らし合わせ、業績予想の変更なし

単位:百万円(単位未満切捨)

	2015年1月期 第3四半期(累計) 実績	2015年1月期 通期	
		予想	進捗率
売上高	11,015	14,961	73.6%
営業利益	1,391	2,183	63.7%
経常利益	1,411	2,186	64.5%
四半期(当期) 純利益	732	1,211	60.4%

※比率については表示単位未満を四捨五入

2-3. 2015年1月期 市場環境に対応した取り組み

市場規模拡大に対応できる営業体制を構築
 受注能力・利益率向上のために地方拠点活用を推進
 国内外拠点の連携強化により顧客のグローバル展開サポート

＜売上＞
 市場の好機を着実に
 取り込む営業体制

国内外にて営業幹部の増員を行い、**営業力向上**を図るとともに、営業部門と業務部門の融合により、**顧客への対応スピードを向上させる。**

＜労務費＞
 人材不足と
 人件費上昇への対応

当社グループの業務は、作業場所を選ばないことから、地方拠点を拡大し、顧客先常駐・派遣業務以外は、**地方拠点**で行うことを**推進**する。

＜利益＞
 持続的な利益拡大

人件費上昇は不可避であるが、**国内25拠点の活用**により、人材確保、人件費の**ミックス効果**を発現させる海外デバッグ、ネット看視事業の収益性向上に努める。

2-4. 株主還元(配当予想)

2015年1月期は1株当たり**16円**を予定

配当政策

連結当期純利益に対し、**配当性向25%**を目途

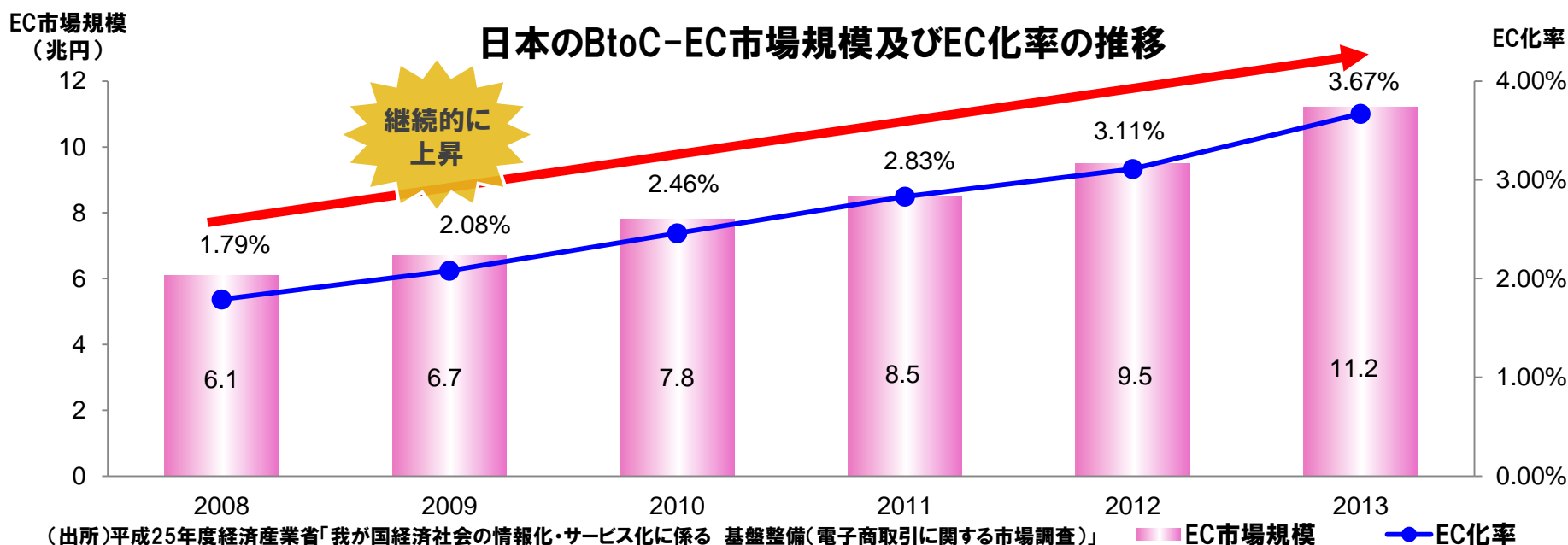
1株当たりの年間配当金の推移



(注)当社は2013年1月9日付で普通株式1株につき2株の株式分割、また2014年1月9日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、2012年1月期及び2013年1月期の配当金額については、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

3-1. Eコマース市場の状況

**衣料、宿泊・飲食、医療化粧品を中心にEC市場拡大
消費者が安心して利用できるECサイト運営＝ECビジネス成功の鍵**



※BPO: Business Process Outsourcingの略。業務の一部を一括して外部専門事業者へ委託することで、委託者は自社のコア業務に専念し、業務全体の効率化、高品質化を図る。 11

3-2. Eコマースサポート事業の状況

モール型ECサイトを安全に運営するためのサポートサービス実例

店舗審査

過去に詐欺・不正行為等
を起こしていないか等、出
品店舗の審査を行う。

出品審査

出品商品が関連法規や
詐欺・不正に該当しない
か審査したり、商品画像
や説明文チェックを行う。

広告審査 入稿管理

店舗から入稿された広告をサイト掲載基準に従って審査したり、掲載までの
進捗管理をする。

ユーザーサポート

エンドユーザーからのお問い合わせ全般に対応する。トラブルやクレームを
正確に把握し、ユーザーの質問等に対応するとともに、顧客満足度向上に
活用する。

データ集計 バックオフィス業務

消費者の行動プロセス分析や行政機関からの照会対応業務等も行う。



ビットクルー札幌サポートセンター 業務開始時ブリーフィングの様子

3-3. 越境Eコマース※向けサポート事業の状況

中小企業でも海外市場に目を向ける事業者(セラー)が増加
 ネット看視事業の会社名に統一感※を出し
 越境ECビジネスの開始から運用までトータルサポート体制構築中

越境ECに立ちはだかる4つのハードル



言語

文化

出品システム

在庫管理

言語

10ヵ国以上の言語に対応可能な運用体制提供
 (ページ作成、受注管理、ユーザー(バイヤー)とのやり取りに関する翻訳等)

文化

海外の市場調査、海外ECサイト選定、各国の文化に合わせたサイト運用

出品システム

データコンバート等、商品データファイルを出品システムへアップロードする
 操作サポート

在庫管理

受注管理から発送、在庫管理まで一括した運用体制提供

※越境Eコマース:消費者と、当該消費者が居住している国以外に国籍を持つ事業者との電子商取引(購買)。

(参考)本格的な越境EC時代到来、出店者に立ちはだかる4つのハードルとは http://news.mynavi.jp/articles/2014/09/25/pitcrew_ec/

※ 2014年11月28日、「ポートサイド株式会社」は「ピットクルー・クロスラボ株式会社」へ社名変更。

4-1. 会社概要

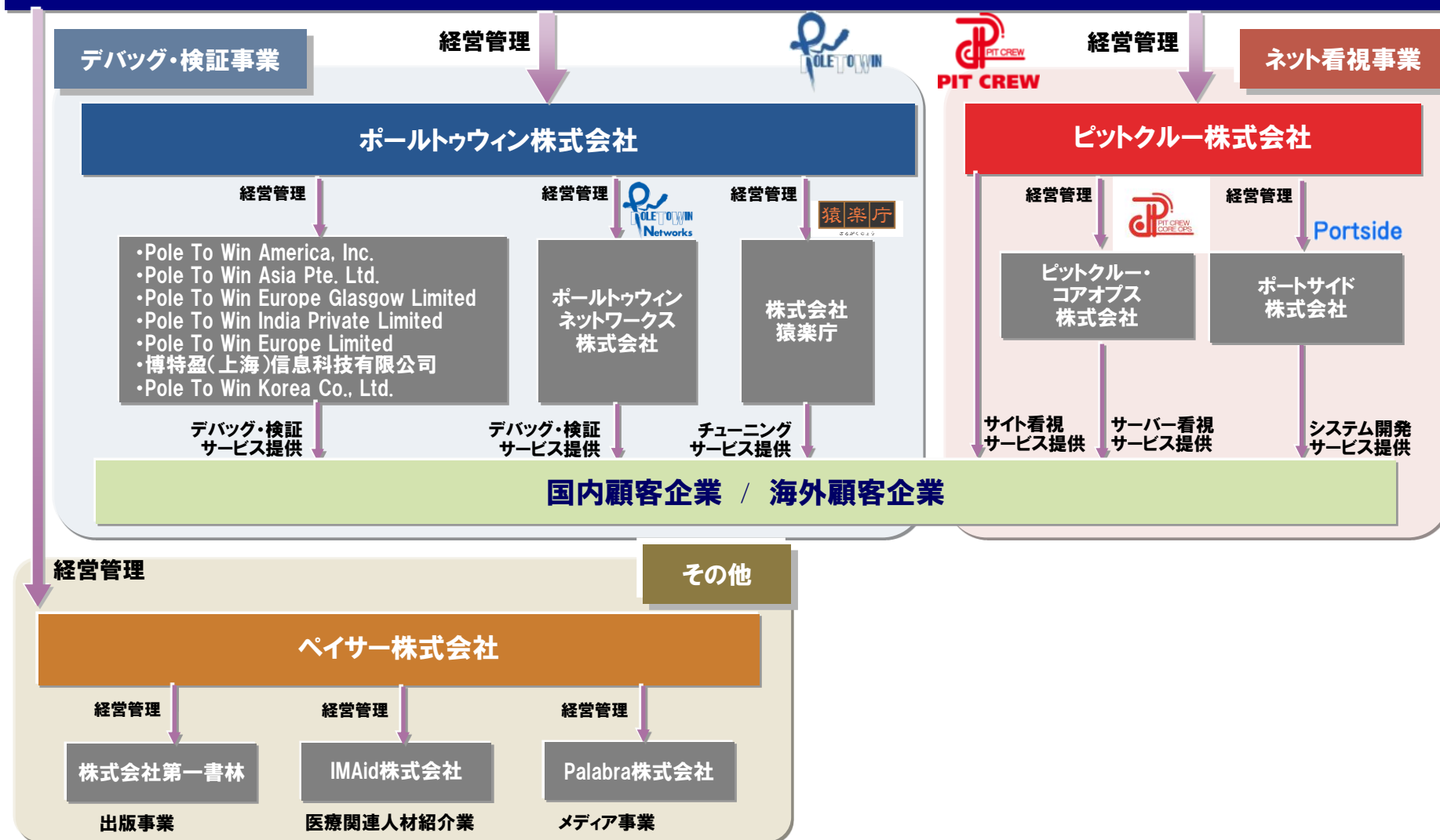
(2014年10月31日現在)

会社名	ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社	
代表者	代表取締役会長 橘 民義 代表取締役社長 小西 直人	
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル11F	
設立	2009年2月2日	
資本金	12億3,600万円（2014年7月31日現在）	
上場市場/コード	東京証券取引所市場第一部（証券コード:3657 銘柄略称:ポールHD）	
事業内容	<p>当社及び連結子会社17社で構成されるグループ全体の事業活動の支配・管理及びこれに付帯または関連する業務</p> <p>【当社グループの主な事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デバッグ・検証事業 ソフトウェア・ハードウェアの品質向上のサポートをするため、不具合の検出を行う事業 2. ネット看視事業 インターネットサイトの健全運営をサポートするために、違法有害情報や不正の検出を行う事業 3. その他 出版・メディアに関する事業等 	
連結業績 (2014/1期)	売上高 : 138億7,900万円 経常利益 : 22億9,000万円 当期純利益: 12億 500万円	連結従業員数: 1,919人 （内正社員数 558人、2014年1月31日現在）

4-2. グループの構成(連結子会社17社)

(2014年10月31日現在)

ポルトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社



4-3. 事業セグメント

(2014年10月31日現在)

デバッグ・検証事業

デバッグ・検証とは

ソフトウェアのプログラムが設計・仕様どおりに動作するか、意図しない現象が発生しないか等を確認・報告

- ① デバッグサービス : 主に家庭用ゲーム、モバイルコンテンツ、アミューズメント機器等向け
- ② 検証サービス : 主にIT家電等に対する動作検証作業
- ③ 翻訳サービス : 海外のゲームユーザーに魅力を伝える高品質な翻訳

ポルトゥウィン株式会社	ポルトゥウィンネットワークス株式会社	Pole To Win America, Inc.	Pole To Win Asia Pte. Ltd.
Pole To Win Europe Glasgow Limited	Pole To Win India Private Limited	Pole To Win Europe Limited	博特盈(上海)信息科技有限公司
		Pole To Win Korea Co., Ltd.	株式会社猿楽庁

ネット看視事業

ネット看視とは

インターネットサイトを健全に運営し、利用者が安心できるように、違法有害情報や不正利用を検出・排除

- ① ネット看視サービス : インターネットサイト看視に関するサービス
- ② ユーザーサポートサービス : 電話やメールによる問い合わせへの返信対応等

ピットクルー株式会社	ポートサイド株式会社	ピットクルー・コアオプス株式会社
------------	------------	------------------

その他

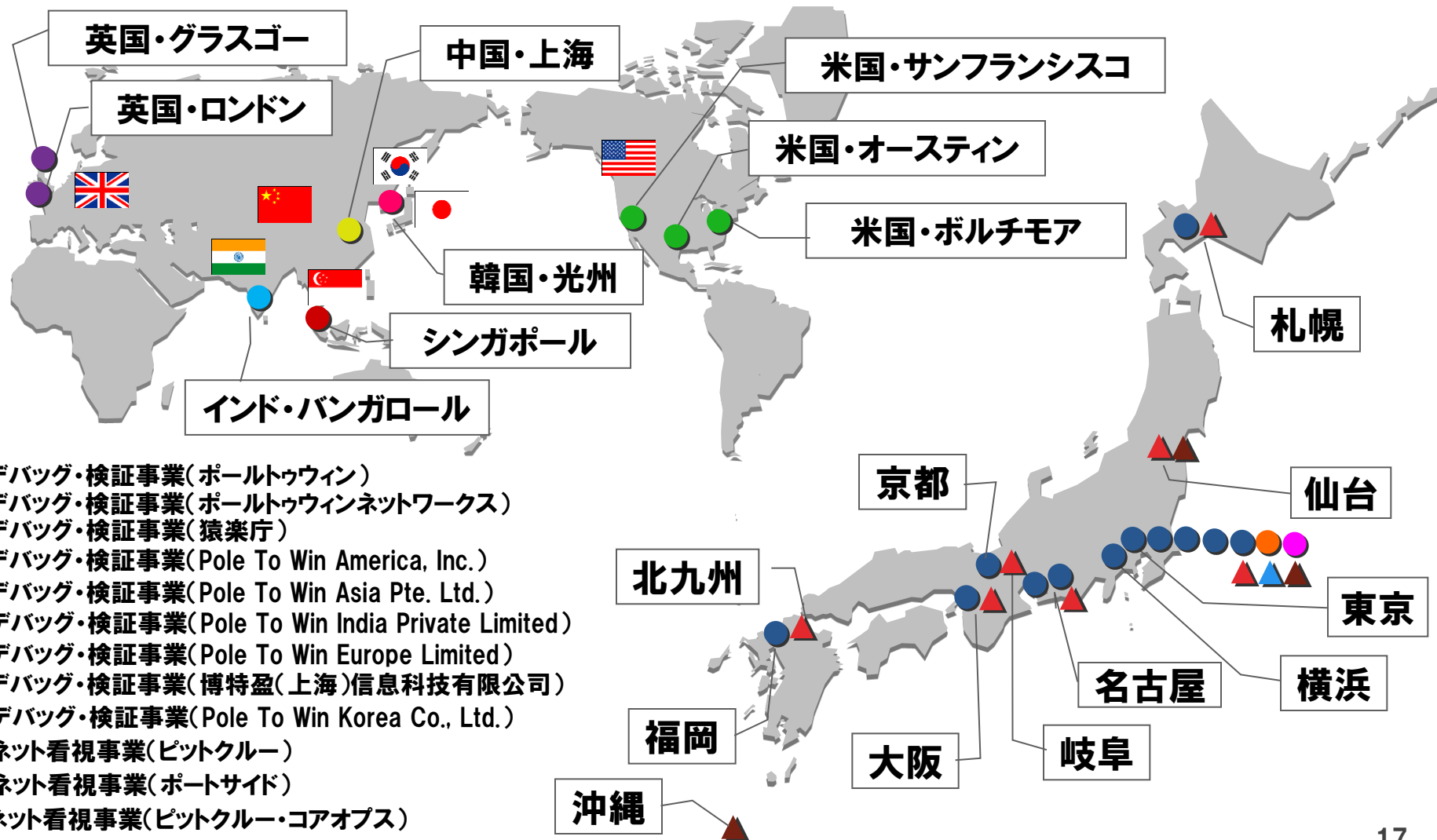
出版・メディアに関する事業、医療関連人材紹介業

ペイサー株式会社	株式会社第一書林	IMAid株式会社	Palabra株式会社
----------	----------	-----------	-------------

4-4. 事業拠点(デバッグ・検証&ネット看視事業)

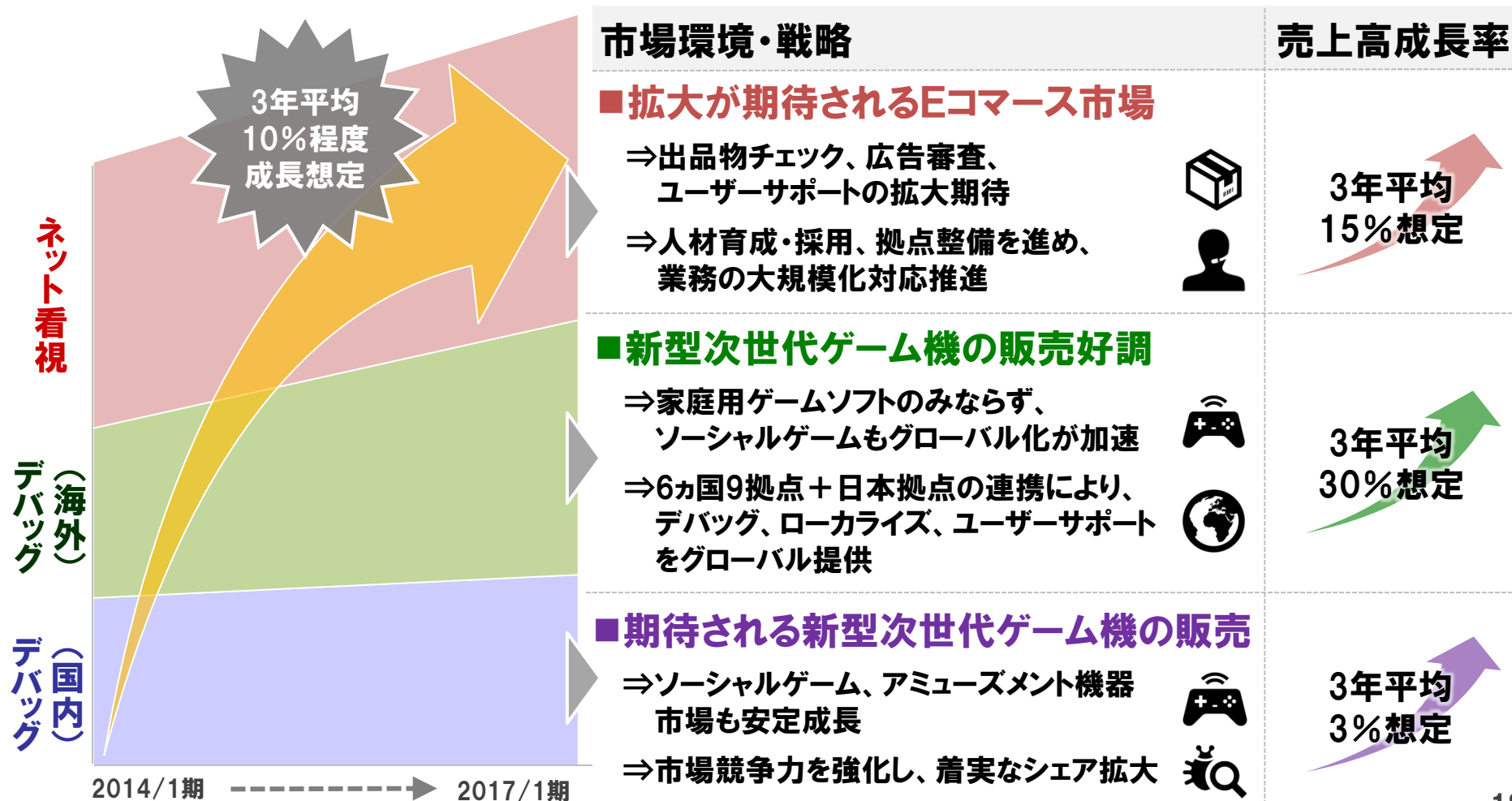
(2014年10月31日現在)

■ 国内25拠点、海外9拠点で事業展開



4-5. 今後の事業成長イメージ

今後3年の年平均売上高成長率は10%を想定
3年後の営業利益率は18%を目指す



- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。